

令和 3 年度
公立大学法人長野県立大学の業務の実績に関する報告書
参考意見書（案）

令和 4 (2022) 年 9 月
公立大学法人長野県立大学評価委員会

本参考意見書は、法人運営全般の改善や教育研究の質の向上を目的として、評価結果報告書に記載された中期計画及び年度計画に対する評価コメントとは別に、法人への期待や要望、今後参考となる事項を取りまとめたものです。

大項目	小項目 番号	項目の内容	内 容
4 学生への支援	40	県内就職者数	新卒者の県内就職者数（県内就職率）を目標値に設定するなど地域に貢献するリーダーの輩出に努めることを期待する。
5 研究	49	研究成果の情報発信	例えば、大学のHPの教員紹介のページから、教員の研究活動を容易に確認できるよう、科学技術振興機構（JST）のリサーチマップと同期するようなシステムを構築されるなど検討されてはどうか。
	50	長野県に関わる資料の収集	他の図書館と連携して、相互に所蔵図書を検索できるシステムを検討されてはどうか。
	51	研究活動の活性化	研究活動の質・量の活性化を図るため、科研費の申請率の他、受託、共同研究件数、論文数、学会報告件数、著書発表数、論文引用件数などを評価項目に加え総合的に評価する仕組みを検討されたい。
6 地域貢献	53	地域課題の解決に向けて	ソーシャルイノベーション創出センターが、地域課題の解決に向けた学内教員の意欲や能力を見極め、産学官連携につなげていく「きめ細かなシステム」を構築することが最重要と考えられる。
	54	SDGsの推進	今後は、県内高校生を対象とした県立大学主催のSDGs関連活動の優秀事例を表彰することを考えてはどうか。
	56	地域課題・資源の掘り起こし	ソーシャル・イノベーション創出センターが多く事業を展開されていることに敬意を表す。特に、未来の長野を考えると、地域課題・資源の掘り起こしは重要と考えられるため、地域の新しい知見の創造に向けて新規の県内進出事業者や既存の地域事業者とのきめ細かなヒヤリングを積極的に行い、地域活性化を実現していただきたい。

大項目	小項目 番号	項目の内容	内 容
8 業務運営	69	監査機能の強化	<p>国立大学法人等監事協議会「監事監査に関する指針」を参考にして、監事機能の強化がなされることを期待する。</p> <p>また、理事長・学長のリーダーシップのもとで、監査の独立性が担保された内部監査の実施体制を整備されたい。</p>
	該当 小項目 なし	内部統制	<p>内部統制の体制や監事の補助体制を充実させ、内部で相互チェックが働くよう体制を強化して頂きたい。</p> <p>また、業務方法書に記載された事項、即ち中期目標等に基づき法令等を遵守しつつ業務を行い、法人のミッションを有効かつ効果的に果すために法人の長が法人の組織内に整備・運用する内部統制の仕組みについて、理事長・学長の強いリーダーシップの下に内部統制システムの方針を定め、各役職及び機関が各々の役割を十分に果すことが望まれる。</p>
9 財務	75	外部資金の獲得	<p>外部資金獲得のための戦略、企画、渉外、広報の機能を高め、外部資金獲得額を年度計画の目標値に定めるなど財務基盤の安定化を図る施策を講じることが望まれる。</p>
	76	財務分析の活用	<p>業務運営の改善及び効率化に資するため財務分析を活用されたい。また、計画と予算を関連付けて業績を評価する仕組みを構築されたい。まずは、他大学間比較、経年比較による趨勢分析から始められたらいかがか。</p>
10 自己点検・評価及び情報の提供	78	自己点検評価項目	<p>自己点検評価項目に、業務方法書に記載された体制整備に関する事項を対象とすることが望まれる。</p>
11 その他業務運営	91	ハラスメントに関する外部相談窓口の設置について	<p>法人内でハラスメント等に関する相談体制を整えているが、外部相談窓口を設けることを是非検討して頂きたい。</p>
その他	該当 小項目 なし	反映状況への記載	<p>法人の業務運営等への反映状況の記載に当たっては、対応計画、計画の実施主体、進捗状況（検討中、対応中、対応済、その他）、具体的な進捗、改善状況を記載することが望まれる。</p>